

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2003-165144 (P2003-165144A)
【公開日】平成 15 年 6 月 10 日 (2003.6.10)
【出願番号】特願 2001-368475 (P2001-368475)
【国際特許分類第 7 版】
B 2 9 C 45/32
【F I】
B 2 9 C 45/32

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 8 月 2 日 (2004.8.2)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

固定側型板、中間型板、及び可動側型板を備え、型締め時に、固定側型板、中間型板間、及び中間型板、可動側型板間にキャビティがそれぞれ形成されるスタックモールド金型において、可動側型板は中間型板に設けた穴部を介して、固定側型板と当接し、可動側型板と固定側型板の当接面の固定側型板にランナーを設けたことを特徴とするスタックモールド金型。

【請求項 2】

ランナーは、キャビティと連通し、固定側及び可動側型板に挿脱可能に嵌装されるサブマリングートを備えたことを特徴とする請求項 1 記載のスタックモールド金型。

【請求項 3】

型開き時に、ランナーを固定側型板から離型する離型手段を設けたことを特徴とする請求項 1 または 2 記載のスタックモールド金型。

【請求項 4】

離型手段は、可動側型板に連動し、ランナーの上面と係着するアンダーカットピンか、または、圧縮バネにより上方に付勢され、ランナー下面に当接し、ランナーを上方に押上げる押上げピンの少くとも一方であることを特徴とする請求項 3 記載のスタックモールド金型。